

令和 2 年 12 月 23 日
都市整備局 MM 2 1 推進課

(仮称)みなとみらい 2 1 中央地区 53 街区開発計画について (報告)

1 第 56 回都市美対策審議会景観審査部会での審議結果について

前回付議した景観審査部会（令和元年 12 月 27 日開催）では、協議の方向性については概ね了承をいただきました。委員の方からいただいたご意見をふまえ引き続き市と協議した結果を御報告いたします。

（前回の部会でいただいた主なご意見）

- ① グランモール軸上における、建物内の機能と連動した抜け感の創出、軸の見通しを遮る柱の解消及び単なるビル間の隙間とならないような象徴性の創出
- ② それぞれの広場の個性、広場のしつらえ及び場所のあり方の検討

2 前回の部会以降の継続協議内容について

（１）グランモール軸（グランモールストリート、グランモールプラザ）について【関連①】

グランモールストリート及びプラザは、都市軸として軸性を創出するとともに、通り抜ける人々が歩いて楽しめる空間づくりを目指し、「ランブリング（気ままなブラブラ歩き）」をテーマに計画が行われています。

昨今のコロナ感染症の拡大を契機に、グランモール軸全体にかけていた大屋根を部分的にかける形態へ変更したところは、計画上大きな変更点となりましたが、当初から掲げている「ランブリング」というテーマは保持しており、基本的な空間活用の考え方としては前回ご承認いただいた内容と相違ありません。

グランモール軸上は、全体として開放的なしつらえとしつつも、横浜駅方面から本施設まで雨に濡れずに歩くのに必要な雨よけが確保されており、快適な歩行者動線の形成に寄与しています。グランモールストリート上の屋根を支える柱は、本数を最小限とすることで、グランモール軸の視線の抜けに配慮した計画としています。

また、街区へと来訪者を誘引するゲートルーフをしつらえることと合わせて、グランモール公園の緑をグランモールストリートに引き込み、キング軸へと結節する立体的な緑のネットワークを形成することにより、軸性を高めることが期待されます。

都市軸としての軸性を創出することを主眼におきながら、快適でにぎわいのある空間が形成されるよう、引き続き協議を行っていきます。

（２）それぞれの広場の活用イメージと快適性向上の工夫について【関連②】

それぞれの広場の具体的な活用イメージに沿い、広場のコンセプトやしつらえをより具現化していく作業を進め、広場の個性の差別化が図られてきています。特に、グランモールプラザでは、イベントスペースとして音環境を向上させる計画の深度化が図られており、53 街区のに

ぎわい発信の核となる場づくりが行われております。また、イベントスペースと通行する歩行者の動線を、植栽などで緩やかに分節し、イベント時にも人混みを避けて通り抜けることができるしつらえとしています。日差しや風などの外的影響に対する配慮は引き続き求めていき、居心地のよい広場空間を形成できるよう協議を進めていきます。

<各広場で目指す活用イメージ>

◆グランモールプラザ

活用イメージ：音楽を中心とした様々なイベントを主軸に、来街者が参加できるイベントを定期的に開催し、53街区からの賑わい発信の核となる場づくり。

◆グランモールストリート

活用イメージ：ストリート沿いに飲食のできる店舗を中心に展開し、オープンカフェ席や販促イベントの開催より、通りでのにぎわいが感じられる活気ある空間活用。

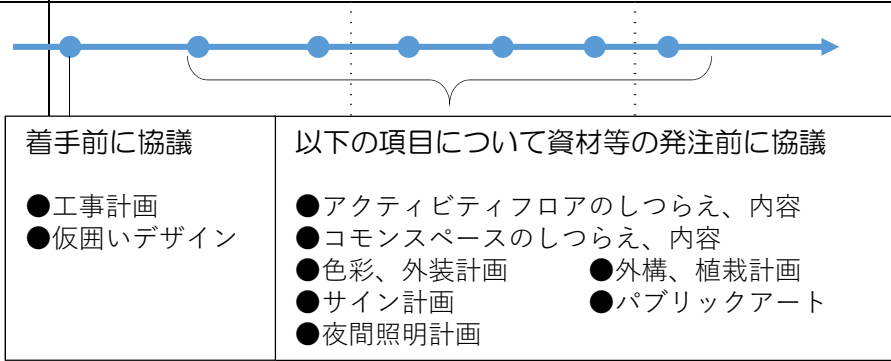
◆ゲートプラザ

活用イメージ：オープンイノベーションスペース利用者やビル就業者の憩いやワークスペースとしての利用、にぎわい施設と連携した展示や体験の場として活用し、地域の方々にも開かれた場づくり。

◆キングプラザ

活用イメージ：店舗と一体となった販促イベントやマルシェイベント等の開催、飲食店舗からのテイクアウト利用や周辺就業者の休憩スペースとして、近隣街区と緩やかにつながり、歩きながらふらっと立ち寄ることができる場づくり。

3 今後の進め方

	2021	2022	2023
施工	4月 着手		12月 竣工（予定）
街づくり基本 協定と合わせた 協議	 <div> <div> <p>着手前に協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ●工事計画 ●仮囲いデザイン </div> <div> <p>以下の項目について資材等の発注前に協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アクティビティフロアのしつらえ、内容 ●コモンスペースのしつらえ、内容 ●色彩、外装計画 ●サイン計画 ●夜間照明計画 ●外構、植栽計画 ●パブリックアート </div> </div>		

※今後も引き続き、都市景観アドバイザーとして国吉先生からアドバイスをいただきながら協議を進めていきます。



景観形成の考え方（報告）

みなとみらい 21 中央地区 53 街区開発事業計画

事業者：（仮称）みなとみらい 21 中央地区
53 街区開発事業者共同企業体

[構成企業]：株式会社 大林組
ヤマハ株式会社
京浜急行電鉄株式会社
日鉄興和不動産株式会社
みなとみらい 5 3 E A S T 合同会社

01 グランモール軸（グランモールストリート・グランモールプラザ）について

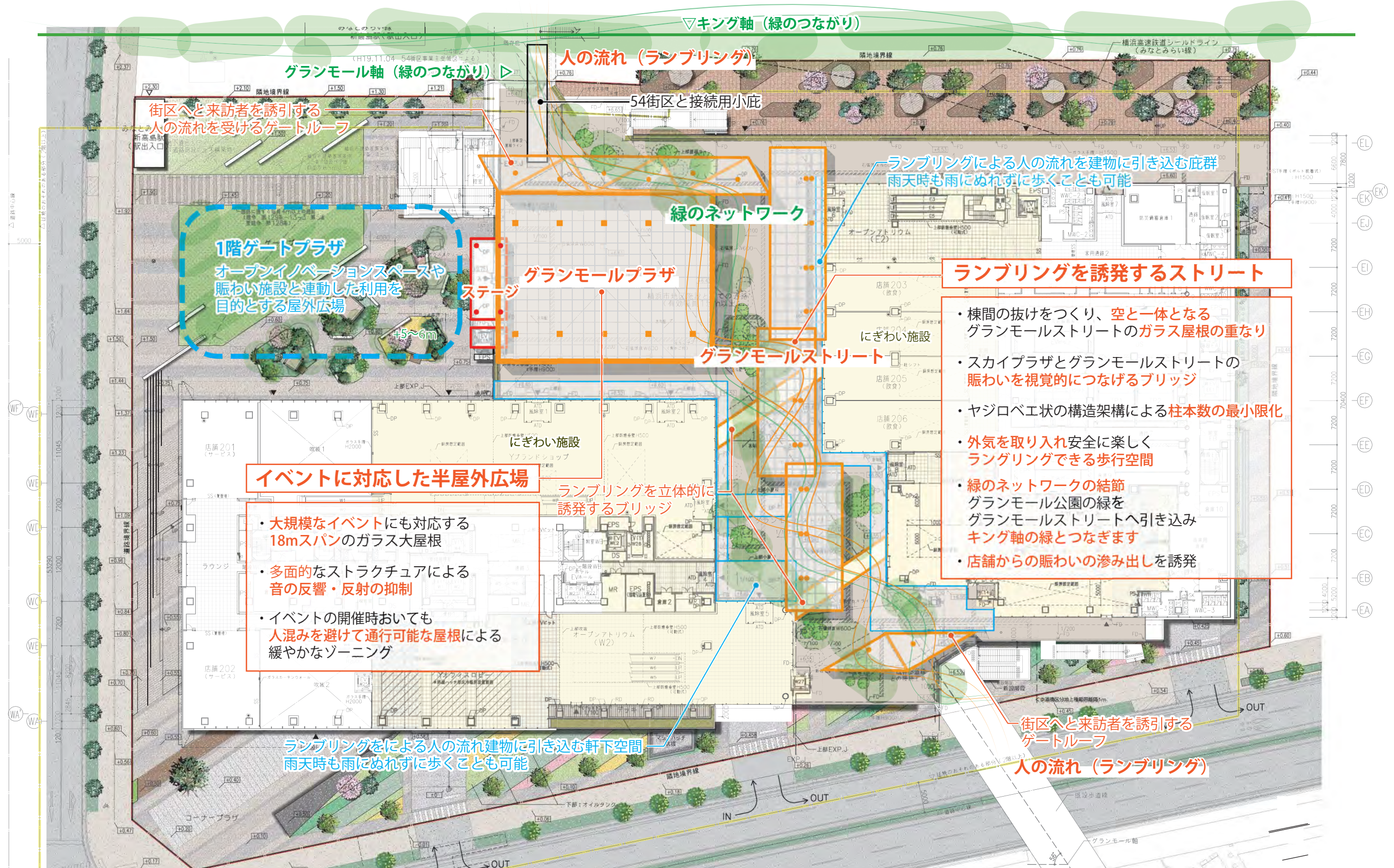


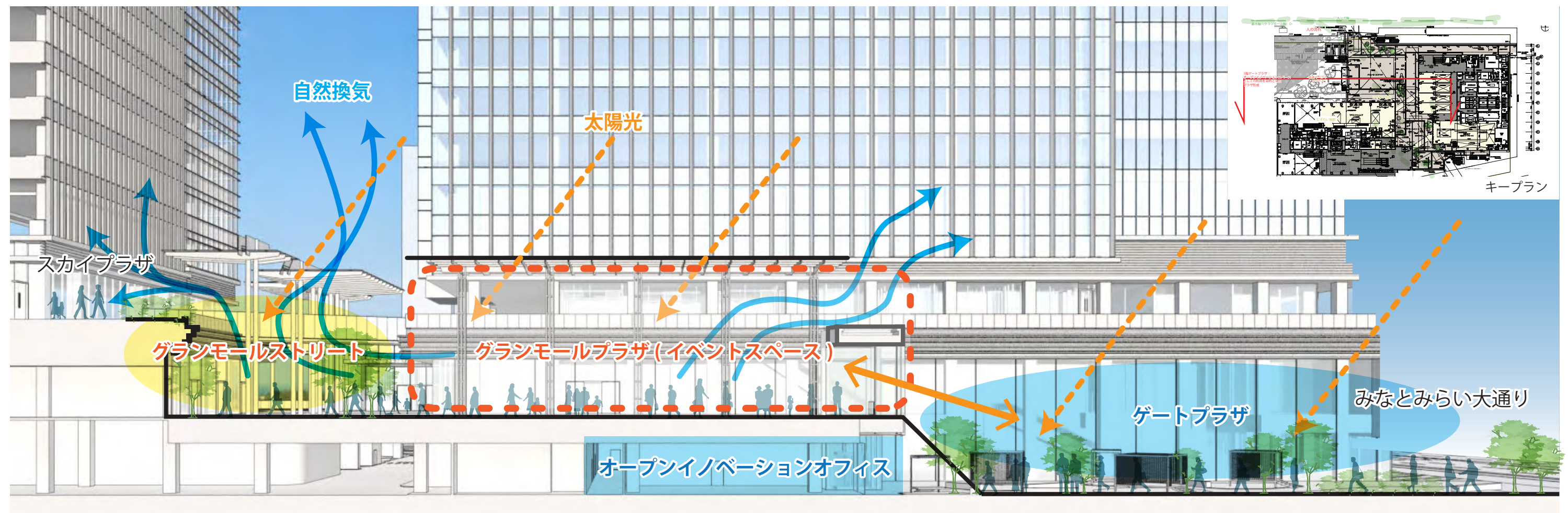
コンセプト “ランブリング（気ままなぶらぶら歩き）”

- ①横浜駅とグランモール公園を結び、みなとみらいブランド
“青い空と豊かな緑をもった明るく開放的な空間”により歩行者を誘引する空間の実現
- ②グランモールプラザを中心とし、キング軸とグランモール軸を緩やかに結接する
- ③音楽を中心としたイベントや内部空間からの賑わいの
しみ出しによる五感を刺激する魅力的かつ快適な空間の創出
- ④コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した安全に楽しく
過ごすことのできる外気を十分に取り入れた風通しの良い
空間づくり



平面計画図 scale 1:1000





グランモールストリート “ランブリングを誘発する街路状広場”

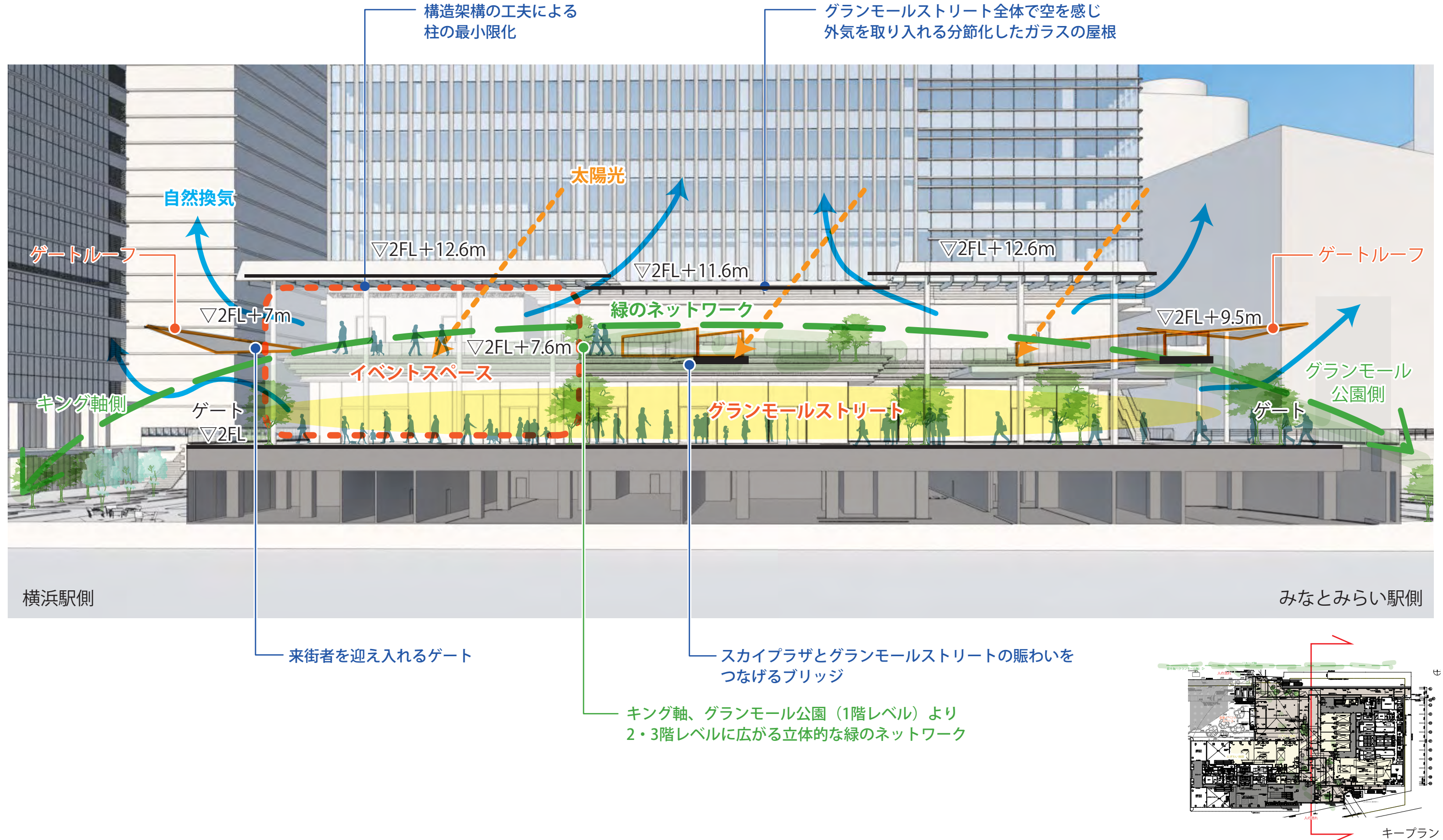
- ・ 抜けをつくり、空と一体となる
グランモールストリートのガラス屋根の重なり
- ・ スカイプラザとグランモールストリートの
賑わいを視覚的につなげるブリッジ
- ・ ヤジロベエ状の構造架構による柱本数の最小限化
- ・ 外気を取り入れ安全に楽しく
ランブリングできる歩行空間
- ・ 緑のネットワークの結節
グランモール公園の緑をグランモールストリートへ引き込み
キング軸の縁とつながります
- ・ 店舗からの賑わいのしみ出しを誘発

グランモールプラザ “イベントに対応した半屋外広場”

- ・ 大規模なイベントにも対応する
18mスパンのガラス大屋根
- ・ 多面的なストラクチャによる
音の反響・反射の抑制
- ・ イベント用開催時においても人混みを避けて
通行が可能な屋根による緩やかなゾーニング

ゲートプラザ “オープンイノベーションスペースや賑わい施設を 拡張する屋外広場”

- ・ オープンイノベーションスペースや賑わい施設より
アクティビティがしみ出す、外部の滞在空間
- ・ 木立の中でアウトドアオフィスとして活用できる空間
- ・ 1Fイノベーションギャラリーと連携し、音楽やものづくりを
テーマとした体験の場として活用できる空間





横浜駅側 54 街区より



横浜駅側ゲート



みなとみらい側歩道橋より



グランモールストリート（みなとみらい駅側より）



グランモールストリート（横浜駅側より）



02 それぞれの広場の活用イメージと快適性向上の工夫

それぞれの広場の具体的な活用イメージと空間のしつらえ

グランモールプラザ

●活用イメージ

音楽を中心とした様々なイベントを主軸に、来街者が参加できるイベントを定期的に開催し、**53街区からの賑わい発信の核となる場づくり**を目指します。

●空間のしつらえ

広場とステージを対として整備し、イベント開催に適した音環境を創出するための建物形状とします。



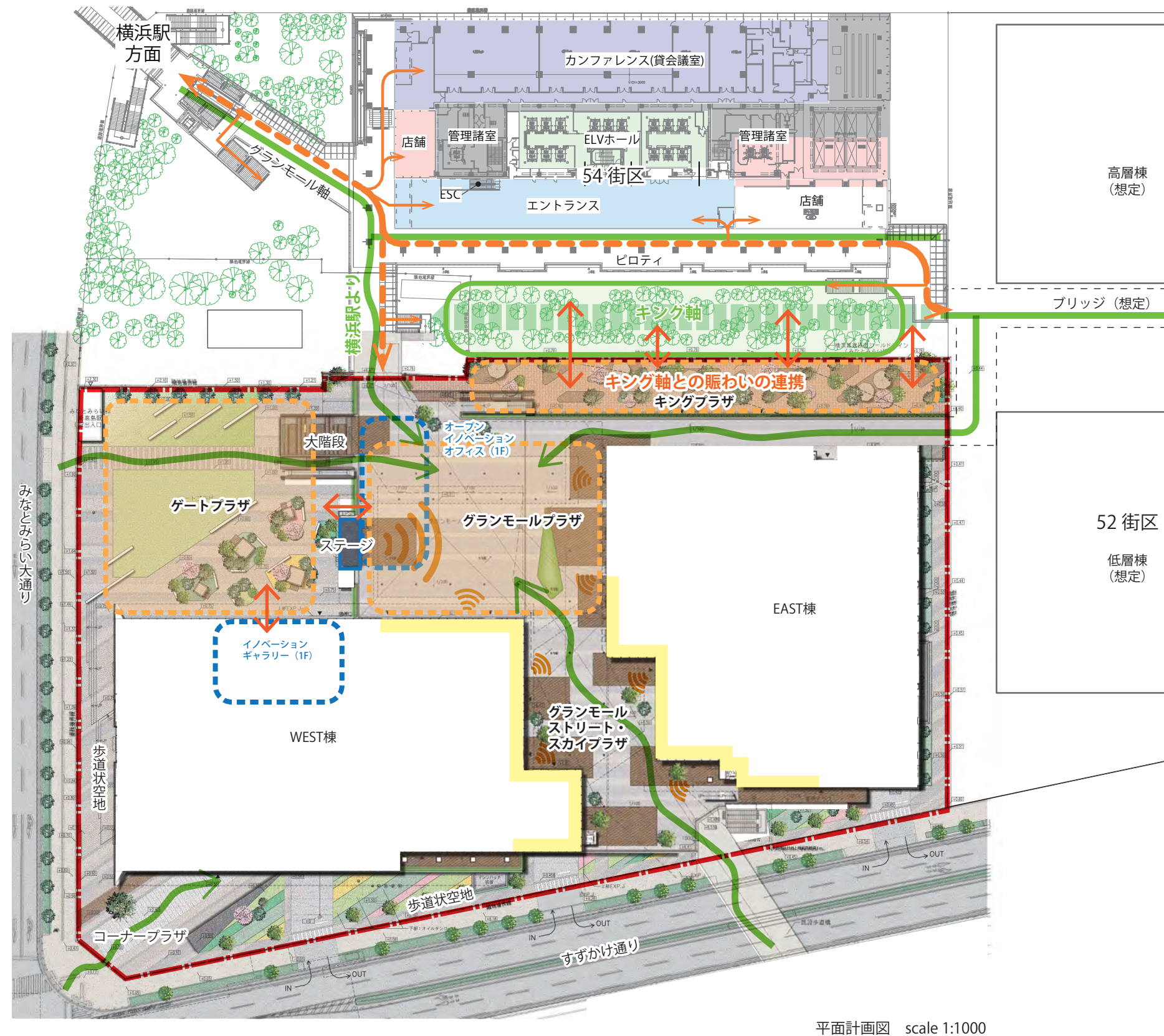
ゲートプラザ

●活用イメージ

オープンイノベーションスペース利用者・ビル事業者のための憩いやワークスペースとしての利用、及び**イノベーションギャラリーと連携した展示や体験の場**として活用し、地域の方々にも開かれた場づくりを行います。（例：音楽やものづくりをテーマとした屋外ワークショップやヤマハ製品の体験イベントの開催を想定）

●空間のしつらえ

フォリーやベンチ、段状ステップなどにより広場に立体感とヒューマンスケールを与え、アウトドアオフィスとしてのコミュニケーションを誘発する仕掛けづくりを行います。



平面計画図 scale 1:1000

キングプラザ

●活用イメージ

店舗と一体となった販促イベントやマルシェイベント等の開催、飲食店舗からのテイクアウト利用や周辺就業者の休憩スペースとして、近隣街区と緩やかにつながり、歩きながらふらっと立ち寄ることができる場づくりを行います。

●空間のしつらえ

・54街区とレベル差のない設えとし、キング軸を中心に緑あふれる幅広い歩行空間づくりを行います。
・ペイブ素材や植栽、可動ファニチャーを拠り所としたフレキシブルな使い方のできる滞留空間とします。



グランモールストリート

●活用イメージ

ストリート沿いに飲食のできる店舗を中心に展開し、**オープンカフェ席や販促イベントの開催により、通りでの賑わいが感じられる**活気ある空間活用を行います。

●空間のしつらえ

室内側から賑わいのしみ出しを誘う仕掛けと3階と賑わいを共有する立体的な構成によって計画します。



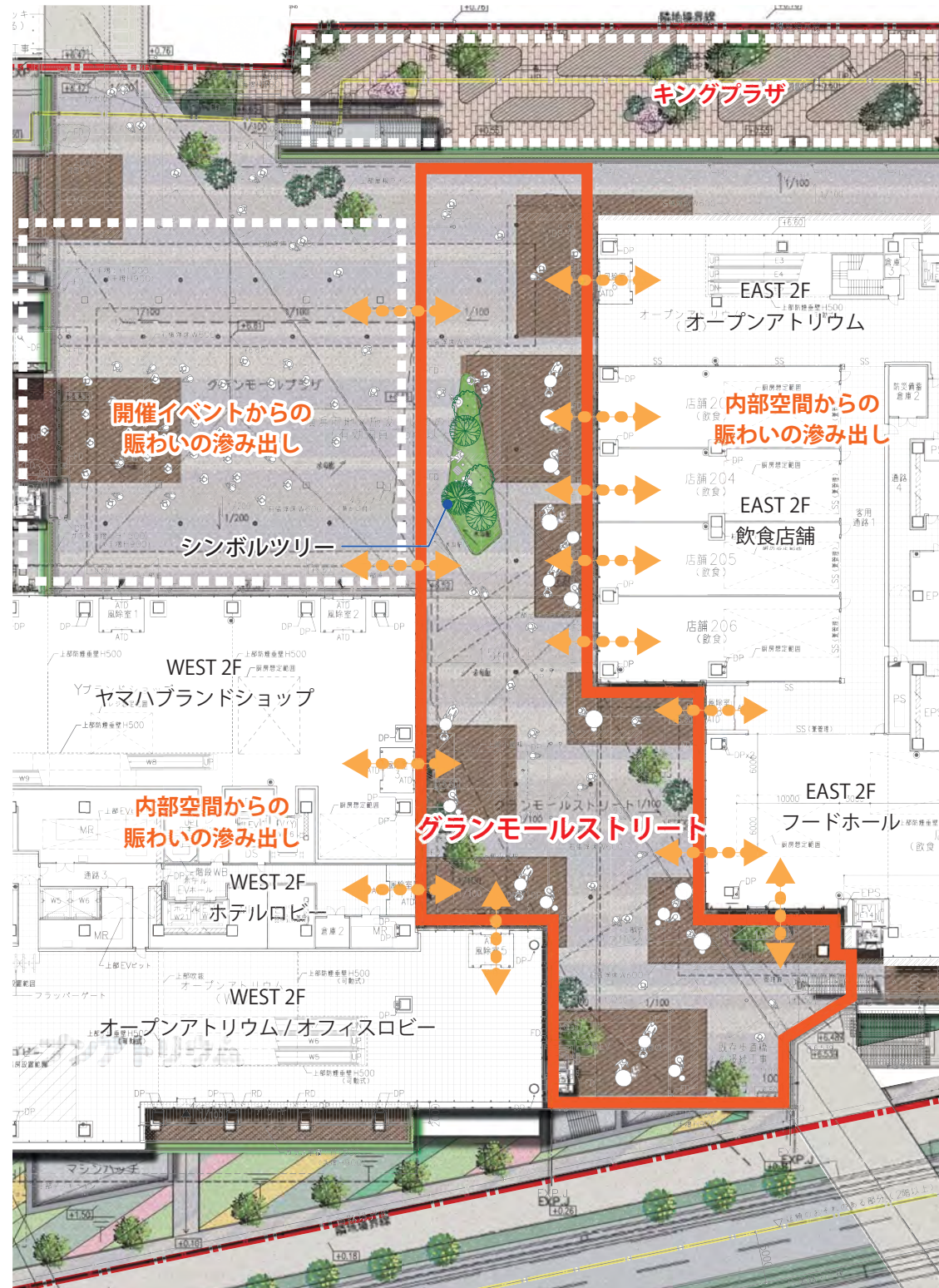
それぞれの広場の具体的な活用イメージと空間のしつらえ

グランモールストリート

●街路状広場としての空間のしつらえ

- ・WEST、EAST各棟間の街路状広場として、建物内からの賑わいのしみ出しを誘因する
- ・1階キングプラザ、2階グランモールプラザ、3階スカイプラザと賑わいを共有する立体的な構成
- ・枝振りの大きな植栽を計画し、人だまりとなる木陰をつくる

街路状の広場としての役割



●店舗、テラス、イベントスペースと連携する街路のイメージ

- ・グランモールストリート沿いに飲食のできる店舗を中心に展開
- ・街路状広場として、イベント広場と植栽とパイプによって緩やかにつなぎ、3階テラスともブリッジによって視線のつながりを作る

街路状の広場のイメージ



グランモールストリートと連続する店舗と3階のテラスのつながり



街路のオープンカフェイメージ

枝振りのある樹種を選定し、木業を落とす



グランモールストリートと連続する店舗とイベント広場のつながり



モール+イベントスペースの賑わいイメージ

それぞれの広場の具体的な活用イメージと空間のしつらえ

グランモールプラザ

- 横浜駅側の賑わいの顔となるイベント広場としての空間のしつらえ
 - ・ 横浜駅から訪れる人々の流れを賑わいで迎え入れ、みなとみらいの象徴となる広場
 - ・ グランモールストリート、ゲートプラザ、隣接他街区へ賑わいを発信する広場としての性格づけ

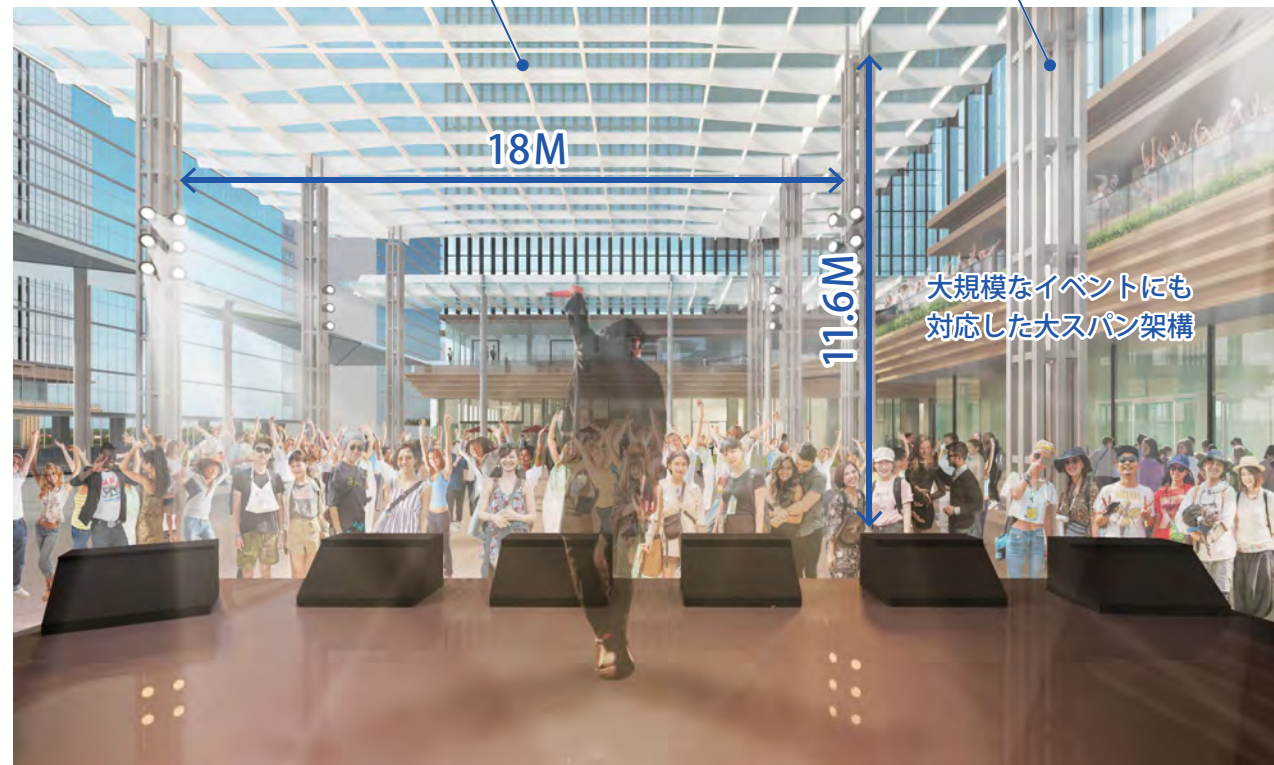
隣接街区全体のイメージ



屋根群の連なりによる広場の象徴性

変化を持たせた架構形状による
音環境の向上

イベント用設備の配置に適した
中空状の柱

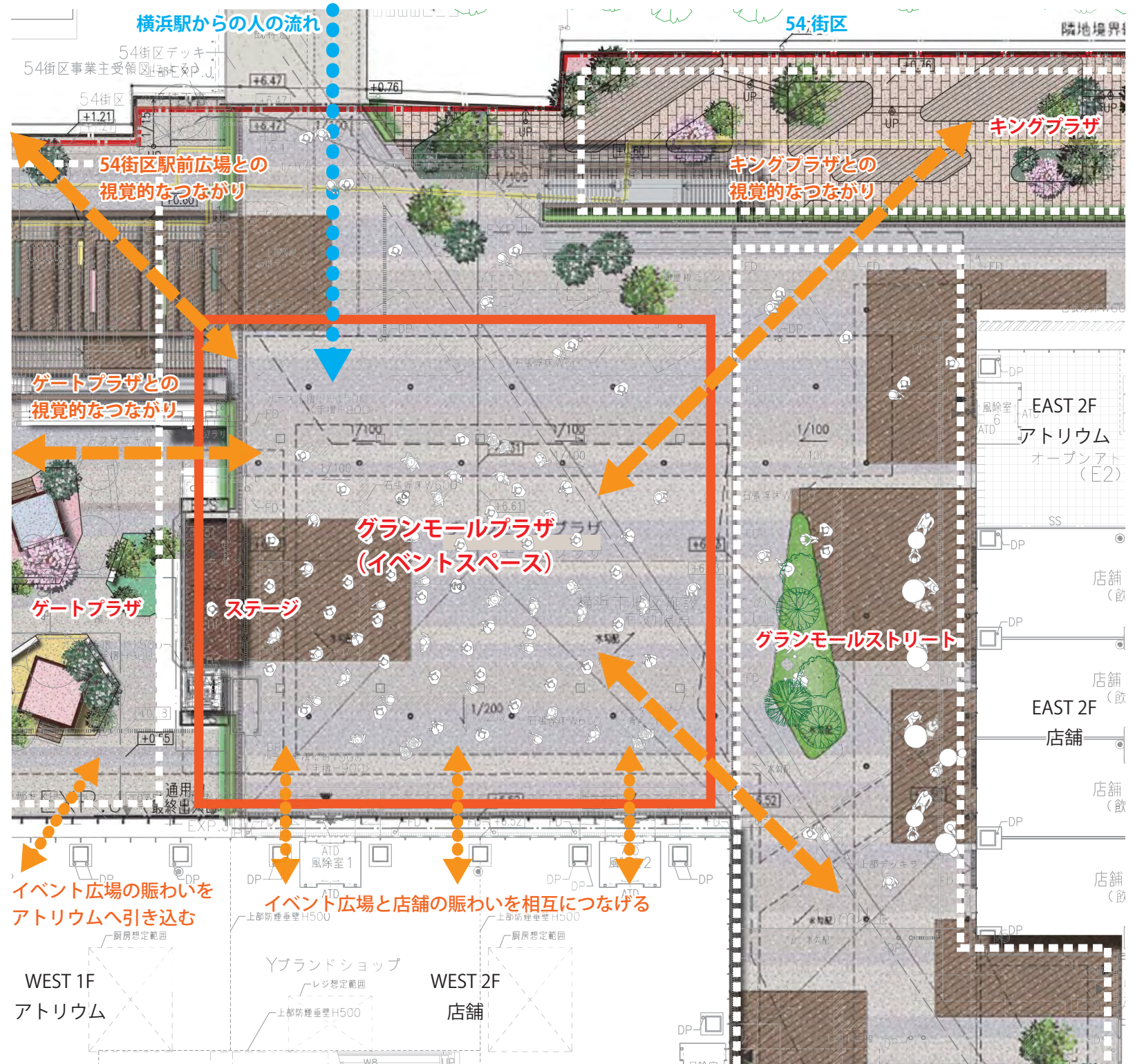


発信する広場としてのステージと空間のイメージ

● 発信の場としての空間活用のためのゾーニング

- ・ 広場とステージを対として整備し、イベント開催に適した音環境を創出するための計画
- ・ 音楽を中心とした様々なイベントを主軸に、来街者が参加できるイベントを定期的開催

発信する広場と周辺の関係

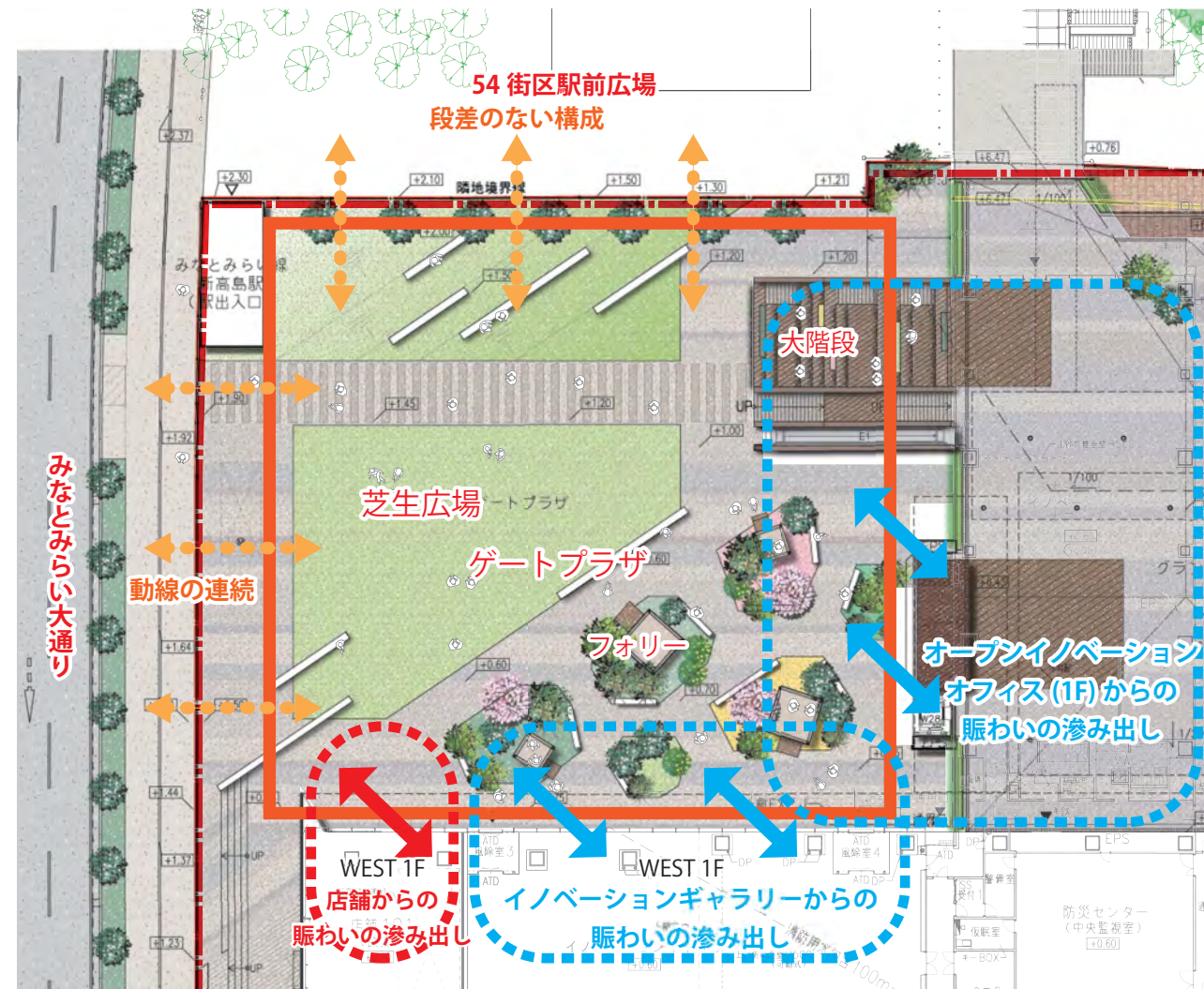


それぞれの広場の具体的な活用イメージと空間のしつらえ

ゲートプラザ

- 接道するゲート性を内包する広場としての空間のしつらえ
 - ・ 街区入場者に対するゲートとして迎え入れる地域の方々にも開かれた広場
 - ・ オープンインベーションスペース利用者やビル就業者の憩いやワークスペースとしての利用を想定
 - ・ イノベーションギャラリーと連携し、展示や体験の場としての利用を想定
(例：音楽やものづくりをテーマとした屋外ワークショップやヤマハ製品の体験イベントの開催を想定)

隣接街区全体のイメージ



大階段イメージ

- 隣接街区、接道路、建物用途と連携した広場活用イメージ

- ・ フォリーやベンチ、大階段の段状ステップなどによる立体感とヒューマンスケールを意識した広場の計画
- ・ アウトドアオフィスとしてのコミュニケーションを誘発する仕掛けづくりを行います。

一定の間隔をもって
憩うことのできる大階段

イノベーションギャラリー



オープンインベーションオフィス

ベンチ

ゲートプラザ構成イメージ

フォリー×木陰を落とす枝振りのある植栽
アウトドアオフィスとしての居場所のイメージ



フォリーとパッケージ化する植栽選定イメージ

×



フォリーイメージ

それぞれの広場の具体的な活用イメージと空間のしつらえ

キングプラザ

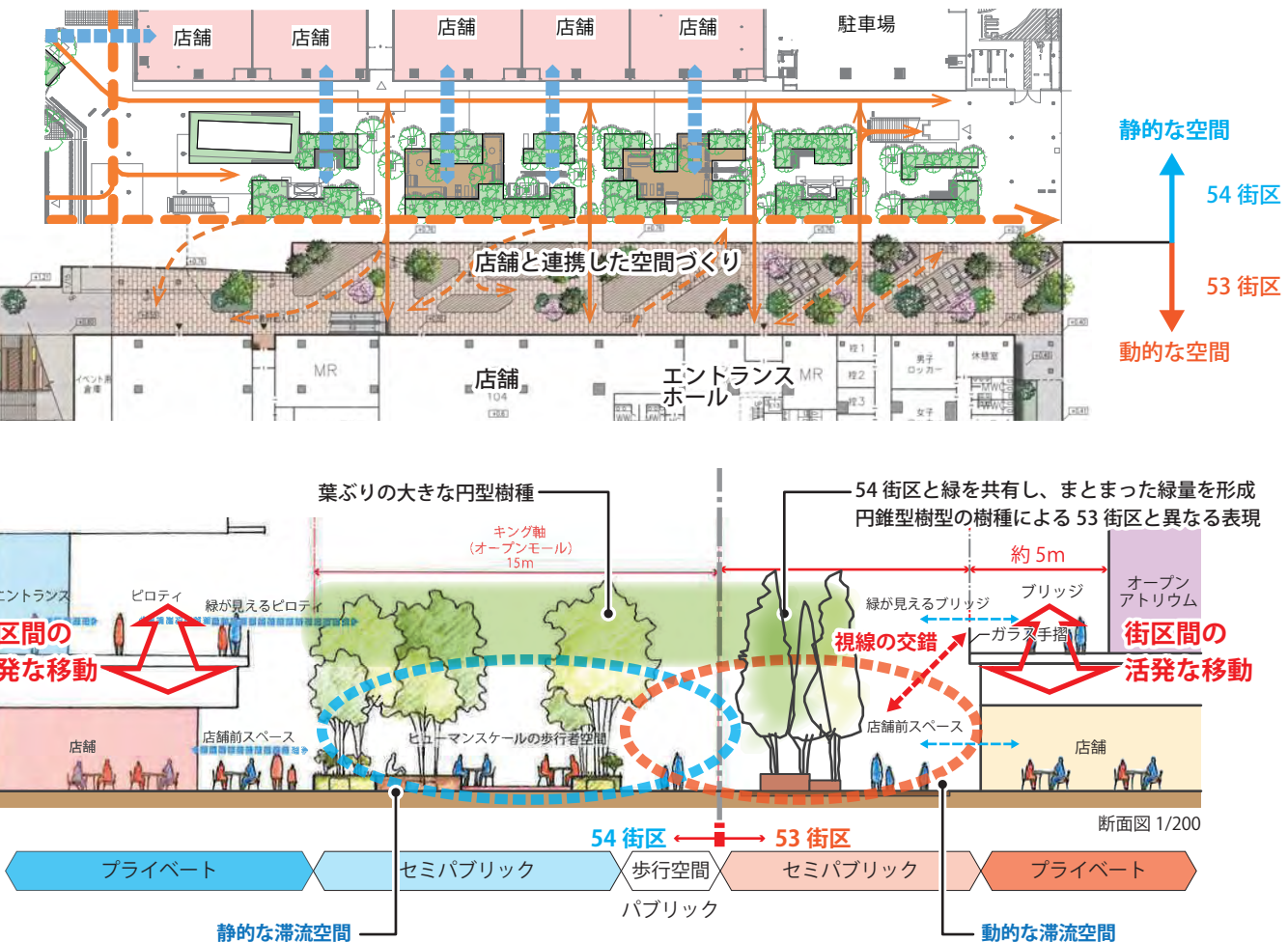
- 近隣街区に接する広場としての空間のしつらえ
 - ・ キング軸を中心に54街区とレベル差のない設えとし、緑あふれる幅広い歩行空間づくりを行います。
 - ・ 54、52街区の連携も想定して、ペイブ素材や植栽、可動ファニチャーを拠り所としたフレキシブルな滞留空間とします。

隣接街区全体のイメージ



- 隣接街区と連携した広場空間の活用
 - ・ 店舗と一体となった販促イベントやマルシェイベント等の開催
 - ・ 飲食店舗からのテイクアウト利用や周辺就業者の休憩スペースを近隣街区と緩やかにつなぐ
 - ・ 歩きながらふらっと立ち寄ることができる場づくりを行います。

隣接街区と広場の連携のイメージ



54 街区側ー静的な滞留空間ーイメージ



53 街区側ー動的な滞留空間ーイメージ



「STAGE on Port ～港の舞台～」をデザインテーマに、活用イメージに合わせて港町「YOKOHAMA」のデザインモチーフを展開します。

活用イメージ



green



material



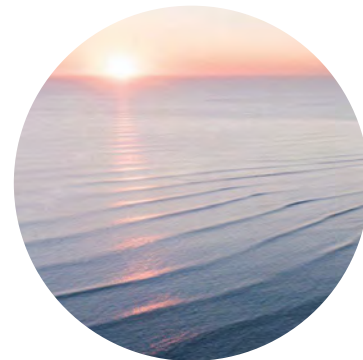
帆船



ウッドデッキ



波



マスト



太陽光



Furniture



Deck Materials



1/f Rhythm Pattern



Verticality Green



Shade Green

滞在時間を長く設定する広場には木陰をつくる“Shade”Greenを配し、移動をともしう歩行空間にはリズム感をつくる“Verticality”Greenを計画します。

